



1 地区の概況

- ・区の中央部から南部にわたる細長い地区で、南側は泉区に接しています。人口・世帯数は12地区の平均よりやや少なく、19の自治会があります。
- ・3区分の年齢構成は、15歳未満の割合が12地区で最も低く、65歳以上の割合が2番目に高くなっています。
- ・北側には大きな公営住宅があり、この地域では、65歳以上の単身世帯の割合が高くなっています。
- ・高齢者対象の活動、子育て支援とも活発に行われています。

2 地区の主な意見

高齢者の地域の見守り

- ・隣近所で声を掛け合う習慣、誘い合える関係など高齢者世帯とのつながりを普段から心がけることが必要です。
- ・地区で活動を行っている組織の担い手不足など人材の確保が課題となっています。

子育てへの支援

- ・子どもや青少年の居場所が地域の中に十分にありません。
- ・子どもたちに対して遊びを伝えていくなど世代間での交流を持つことが必要です。

地域の拠点づくり

- ・高齢者支援や子育て支援、ボランティア活動など福祉活動の地域の拠点を確保することが必要です。

地区社会福祉協議会

- ・ボランティアグループの横の連携を強化し、それぞれの活動を推進していくことが必要です。

災害対策

- ・日頃から、災害時に向けた対策、高齢者や障害者に対してどのように支援するかということを考えておくことが必要です。
- ・各自治会単位で防災について対策を立て、地区として共有することが必要です。

道路・交通整備

- ・災害時の消防車進入路を確保するために、道路整備が必要です。
- ・南瀬谷バス終点から干池、上ノ原地区へのバス路線の延伸が望まれます。小型バス運行などの工夫や宮沢循環路線など、実現に向けた検討が必要です。



▶▶ 3 地区で考えた地区の取組み

みんなで進めよう！

- 1 総合的な福祉拠点の確保
- 2 子どもの健全な遊び場確保
- 3 南瀬谷健康クラブ 南台お助けグループの拡充
- 4 災害対策・防災力の向上
- 5 地区社会福祉協議会の強化

1 総合的な福祉拠点の確保

高齢者が多い地区だから、福祉活動・ボランティアの拠点が必要！

- ♪ 高齢者が多い団地内の集会所フル活用
- ♪ 空き家利用によるたまり場、サロンの開設

2 子どもの健全な遊び場確保

南台子どもの森公園を、子育てグループ、子どもたち、高齢者などの憩いの場、活動の場に！

- ♪ 隣地をふれあい樹林として活用
- ♪ 緑の保全、環境の悪化防止
- ♪ 子どもの自由な遊び場

5 地区社会福祉協議会の強化

地区社協は活動グループの要！
各グループが横の連絡を密にし、結束しよう！

- ♪ 地域のグループを結集するための協議会の設置

健康クラブ、お助けグループの参加者を増やし、活発な活動を！

- ♪ ウォーキング・軽体操・健康に関する学習会などを実施
- ♪ 活動場所、リーダーの協力

- ♪ 高齢者や障害者への身近なお助けグループの情報共有

3 南瀬谷健康クラブ 南台お助けグループの拡充

自治会ごとに防災対策をすすめ、防災力を向上！

- ♪ 自治会ごとの実情に合わせた防災対策の立案
- ♪ 地域として避難場所の自治会名表示、誘導通路の安全確認など
- ♪ 総合訓練を実施

4 災害対策・防災力の向上